

## 主要リスクと機会

UBEグループは、事業を継続、発展させていくうえで、地球環境の持続可能性を脅かすリスクおよび個別事業に内在する諸リスクの認識とその適切な対応が必要であるとの認識のもと、徹底したリスク管理およびそれらを新たな収益機会に結びつけるための取り組みを推進しています。

### リスク管理方針およびリスク管理体制

UBEグループでは、取締役会・経営会議などの意思決定の各過程において、事業の目的達成を阻害するリスクを洗い出し、そのリスクの発生可能性と影響度を評価したうえで適切な対策を実施しています。

経営に対する影響度の特に大きい重要なリスクについては、成長・環境 (E)・社会 (S)・ガバナンス (G)の4項目に分類しています。GHG排出量の多い企業として、最も重要なリスクは「環境」

であるとの認識のもと、GHG排出量削減への能動的な取り組みと環境貢献型事業を一層拡大することで、環境リスクを低減させるだけでなく、リスクを機会に転じさせることを目指しています。

体制面では、リスクの洗い出しと発生可能性および影響度を収集するための全社統一した管理システムの導入や、リスク情報の一元管理を行う専任部署として「リスク管理部」を設置するなど、UBEグループのリスク管理に関する内部体制を整備しています。

リスクマネジメント



<https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/sustainability/risk-management/risk-management.html>

### 経営に対する影響度の特に大きい重要なリスク、対応策および機会

分類	リスク項目	リスクの概要(例)
成長	化学事業の業績悪化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 同業他社の生産能力増強による供給増や、主原料価格が需給バランス変動により急激に変動した場合、製品と原料の価格差(スプレッド)が縮小する</li> <li>● 供給先の事故などで必要な原材料を確保できない</li> <li>● 短期的に世代交代が起こり得る用途向けの製品において、顧客要求にタイムリーに応じられないことによる販売数量減少や競争激化に伴う価格低下が生じる</li> </ul>
	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究開発テーマが計画どおり進まず、新製品開発が著しく遅延したり、開発を断念する</li> <li>● 医薬事業における新薬承認見送りや承認取り消しがなされる</li> </ul>
	地球環境問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 石炭を有効活用しながら事業拡大を図ってきたため、炭素税が導入される場合に大幅なコスト増となる</li> <li>● 地球環境問題への対応が遅れている企業と評価されることにより、製品の販売低迷や企業価値に悪影響を与える</li> </ul>
環境	重大な自然災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内外の製造拠点などが想定を超える大規模な自然災害により甚大な被害を受け、製造拠点の生産停止、営業拠点の活動休止等となる</li> </ul>
	大規模事故 (爆発・火災・漏洩事故)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多量の高圧ガス、危険物等を使用する工場では、設備事故や人為ミスなどにより、大規模爆発・火災・漏えいが発生し、社員・地域住民の生命・財産ならびに環境への重大な影響を与える。これにより事故対応や復旧費用、機会損失、顧客・住民への補償が生じる</li> </ul>
	社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業価値向上を担う高い能力の人材の獲得が困難になる</li> <li>● 経験豊富な人材やノウハウを持った人材など、重要な人材が社外流出する</li> </ul>
ガバナンス	重大なコンプライアンス違反	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 品質に瑕疵のある製品を出荷して、損害賠償など多額な費用が発生する</li> <li>● コンプライアンス違反による信用失墜で事業活動が低迷する</li> <li>● UBE、あるいはUBEの社員等が法令違反をして法的制裁の対象となるだけでなく、事業活動の制約や社会的な信用に影響を及ぼす</li> </ul>

その他のリスクにつきましては、

第114期有価証券報告書P17-20をご覧ください。



## 製品品質に関する取り組み

UBEグループの製品は、自動車部品やデジタル家電など身近なものから、社会インフラの整備まで、多くの分野で使用されます。そのため、品質に瑕疵のある製品が出荷された場合、その影響は広範囲にわたり、安全上や健康上の問題に至らない場合でも、その製品の回収や顧客への損害賠償などの費用発生や、社会的な信用を失う可能性があります。これらを回避するためUBEグループは、頑健性の高い製造プロセスを確保するとともに、工程管理を確実にするための設備の維持、適切な検査プロセスの確立、作業マニュアルの整備、社員の教育等に努め、必要十分な検査を行うことで万一の不良品流出を防止する体制を構築するなど、安全と安心を常に意識し、お客様に満足していただける品質の製品・サービスを提供しています。

さらに、UBEグループでは、一昨年に判明した品質検査上の不適切行為を受け、以下の再発防止策を実施しています。

## 再発防止策

- 取締役会によるガバナンス強化（品質に関する定期的な業務報告、監査報告などによるモニタリング）
- 全社員に対する品質重視の意識の浸透（経営方針の刷新、継続的なトップメッセージの発信など）
- 役員を含むグループ構成員全員を対象とした継続的な教育の実施（Eラーニング、研修会等）
- 品質管理に関する内部統制強化（品質管理規程の整備、本品質監査の実施など）
- 経営資源の積極的な投入による品質基盤の強化（人材の計画的育成・配置、システムによる自動化推進など）

対応策	機会（→マテリアリティ）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原料価格の変動を販売価格に反映させるフォーミュラー価格制度の適用</li> <li>● 原材料の適正在庫の確保</li> <li>● 徹底したコストダウンと製品の差別化</li> <li>● 経営資源の重点投入によるスペシャリティ事業の成長加速</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 炭素生産性の高い事業構造へ改革し、安定した成長を実現</li> <li>● 市場における競争力の向上</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;"><b>積極拡大事業を中心とした化学事業の成長</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業ポートフォリオに基づく重点的な経営資源の投入による、研究開発成果の早期実現と開発精度の向上</li> <li>● 地球環境問題を経営の重点課題に定め、GHGの発生・排出の削減に注力するとともに、環境負荷低減に資する製品・技術の開発と普及を推進</li> <li>● TCFD提言に賛同</li> <li>● 「UBEグループ環境ビジョン2050」の策定と、これを達成するため2030年度を目標年度とする「UBEグループ中期目標」の設定</li> <li>● 廃棄物処理の実績を適切に訴求</li> </ul>	<p style="text-align: center;">↑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 競争力の強い新製品の上市</li> <li>● 炭素生産性の高い事業構造へ改革し、安定した成長を実現</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;"><b>地球環境問題への挑戦</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害発生時の対応マニュアル等の整備、製造設備等の計画的な改修・強化、定期的な防災訓練の実施</li> <li>● リスクマネジメント制度を活用した個別リスクの抽出と対策の実施</li> <li>● BCPを策定し、定期的な見直しと訓練を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広範囲に及ぶ災害の場合、いち早く復旧することで市場からの信頼を得る</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「安全はすべてに優先する」というUBEグループ共有の価値観の浸透</li> <li>● 関連法令の遵守の徹底</li> <li>● 設備の定期点検、維持補修</li> <li>● 教育・経験を積んだ社員の確保、管理マニュアルの整備、防災訓練の定期的な実施、環境安全監査の実施</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営方針に「個性と多様性の尊重および働きやすい職場環境の整備」を掲げ、働きがいのある職場を提供</li> <li>● ワークライフバランスの充実、賃金を含む待遇改善、労働時間短縮</li> <li>● 女性社員が活躍できる環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高い能力を持つ人材の採用と定着</li> <li>● 多様な視点を活かした新規事業や新製品の創出</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;"><b>成長と革新を担う人材の採用と育成</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取締役会によるガバナンス強化</li> <li>● 法規制の遵守とそれを堅持する企業風土の醸成</li> <li>● 工程管理、設備の維持更新、適切な測定機器の設置</li> <li>● 作業マニュアルの整備、社員の教育</li> <li>● 国内の主な法規制をリスト化し、法規制改廃情報を漏れなく共有</li> <li>● リスクマネジメント制度での法規制リスクの洗い出しと対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 信用の回復と着実に法令順守を行う企業風土の醸成により、成長への基盤が固なものとなる</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;"><b>経営基盤の強化</b></p>

詳細はP15-19「ESG戦略」をご覧ください。

詳細はP28-29「UBEグループの強み：人材」、P50-53「人材/人権」をご覧ください。